

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	平取北
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		657,300 千円	
年 効 用		68,353 千円	
廃用損失額		6,909 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,138,032 千円	
費用便益比	= ÷	1.73	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	35,230	ほ場の排水改良等による単収の増加や転作作物の面積拡大対象作物；水稲、小麦、甜菜、トマト
営農経費の節減	12,269	ほ場の大区画化、農道の改修による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物；水稲、小麦、甜菜
	7,511	用排水施設、農道の改修等による施設の維持管理費の節減 対象施設；揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	13,343	老朽化施設の更新による従前の機能の維持 対象施設；用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上		
計	68,353	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	ほたるの里
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		976,500 千円	
年 効 用		80,753 千円	
廃用損失額		- 千円	
総合耐用年数		42 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0631	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,279,762 千円	
費用便益比	= ÷	1.31	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	22,195	ほ場の排水改良等による単収の増加や転作作物の面積拡大対象作物；水稻、大豆、アスパラ、メロン、トマト
営農経費の節減	47,416	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減対象作物；水稻、大豆
	5,092	用排水施設の改修等による施設の維持管理費の節減対象施設；用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	6,050	老朽化施設の更新による従前の機能の維持対象施設；用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上		
計	80,735	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	三 谷
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,588,834千円	
年 効 用		160,166千円	
廃用損失額		36,932千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0504	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,140,965千円	
費用便益比	= ÷	1.21	

### 2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	21,080	ほ場の排水改良等による単収の増加や転作作物の面積拡大対象作物；水稻、小麦、大豆、スイカ、そば、メロン
営農経費の節減	41,061	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減対象作物；水稻
	35,157	用排水施設の改修等による施設の維持管理費の節減対象施設；用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	40,857	老朽化施設の更新による従前の機能の維持対象施設；用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	751	計画地域及び下流域で生じていた洪水被害の防止又は軽減
	3,472	事業に伴う補償工事により地域の利便性が向上や施設機能の保全向上
	17,788	水源開発により河川への還元水の増加が河川流況を安定
計	160,166	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	中居
-----	-------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		879,820千円	
年効用		51,823千円	
廃用損失額		-千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43年	当該事業の耐用年数
還元率 $\times (1 + \text{建設利息率})$		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	1,022,150千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	作物生産効果	11,070	ほ場整備、用水改良による作付増減及び単収の増加 対象作物：水稲、大豆、紫アスパラ等
	品質向上効果		
営農経費の節減	営農経費削減効果	25,885	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆等
	維持管理費節減効果	7,953	ほ場整備、用水改良による維持管理費の節減 対象施設：ほ場整備、農業用排水
	営農に係る走行経費節減効果		
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,917	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、耕作道
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	256	町道創設
地域の資産の保全	埋文発見効果	1,742	埋蔵文化財
計		51,823	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	十王
-----	-------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 0 2 , 1 0 0 千円	
年 効 用		4 0 , 8 2 8 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × ( 1 + 建設利息率 )		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 8 3 , 8 8 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	2 , 5 8 5	用排水改良による単収の増加、作付面積の増加 対象作物：ダイコン、キャリ、苜、水稻	
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 5 , 5 9 4	ほ場整備等による機械の利用効率の向上、用排水改良に伴う水管理の合理化 対象作物：ダイコン、キャリ、苜、水稻
	維持管理費節減効果	4 , 0 8 3	用排水施設等の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	1 , 3 4 6	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	2 , 5 2 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道	
施設更新による災害防止	1 , 8 2 9	防災整備による耕地流亡防止、浸水防止効果	
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	6 , 6 0 3	農道整備による一般交通の走行速度向上効果
	地域資産保全・向上効果	6 , 2 6 5	ほ場整備等により地域資産の保全が図られる効果
計	4 0 , 8 2 8		

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	荒川清流
-----	-------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,302,500千円	
年 効 用		101,294千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0512	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,978,398千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.51	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	32,119	ほ場整備と用排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、大豆、トト、ソバ
	948	農道整備による荷傷の防止効果 対象作物：なす、大根、春菊
営農経費の節減	41,778	ほ場整備による営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：水稲、大豆、トト、ソバ
	4,848	用排水路等の改修による維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
	5,499	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	11,786	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	2,921	水路の石積み護岸による景観等の保全が図られる効果
	1,395	
計	101,294	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	奥大井
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 2 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 8 , 5 7 7 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 7 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 0 1 , 3 5 1 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 5 6	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 , 1 6 3	用水路等整備による営農経費の節減 対象作物：茶
	維持管理費節減効果	7 8 8	排水路等の整備による維持管理費の節減 対象施設：排水路、用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 9 , 8 0 2	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	8 2 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		2 8 , 5 7 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	棚広
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		389,790千円	
年 効 用		24,222千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	469,419千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.20	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	345	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	15,573	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、大根
	維持管理費節減効果	572	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果	2,774	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,891	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路
地域生活環境の保全・向上	地籍確定効果	67	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
計		24,222	



## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	阿賀左岸
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		257,000千円	
年 効 用		21,674千円	
廃 用 損 失 額		5,653千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	396,462千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.54	

## 2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,909	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,393	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、大根
	維持管理費節減効果	7,767	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,752	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路
	災害防止効果	732	災害発生に伴う作物、農地、施設などへの被害が軽減される効果
地域生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	121	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計		21,674	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	石川県	地区名	吉岡
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		272,700千円	
年 効 用		15,883千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	294,675千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	453	ほ場整備に伴う用排水路の整備等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大豆、そば	
営農経費の節減	営農経費節減効果	6,659	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	200	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,119	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用排水路
地域生活環境の保全・向上	地籍確定効果	132	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
	水辺環境整備効果	320	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計	15,883		

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	石川県	地区名	柳田西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		997,900千円	
年 効 用		65,171千円	
廃 用 損 失 額		46,631千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0572	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,092,722千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.09	

## 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	1,787	ほ場整備に伴う用排水路の整備等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大豆	
営農経費の節減	営農経費節減効果	40,002	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	1,404	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	20,125	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用排水路
地域生活環境の保全・向上	地籍確定効果	629	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
	文化財発見効果	1,224	ほ場整備の実施に伴い埋蔵文化財の文化的価値が明確になり、後世に継承される
計	65,171		

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	福井越前
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		633,801千円	
年 効 用		41,474千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	778,124千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.22	

## 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,567 ほ場整備の大区画化、用排水路整備の水管理改良及び暗渠排水の乾田化に伴う単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、なす、ばれいしょ、ピーマン、だいこん
	品質向上効果	607 農道整備に伴う荷傷み及び防塵効果による農作物の品質向上 対象作物：ばれいしょ、なす、だいこん
営農経費の節減	営農経費節減効果	19,258 用排水路整備の一般水管理や、暗渠排水の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、なす、ばれいしょ、ピーマン、だいこん
	維持管理費節減効果	4,734 用排水路の改修、農道整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	609 農道整備による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,506 老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路
	災害防止効果	3,123 施設の新設・改良による災害被害の防止及び軽減 対象施設：溜池
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	70 国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
計	41,474	

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	南越前
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		806,085千円	
年 効 用		48,215千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		32年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	835,615千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

### 2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,425	用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大麦、だいこん、ばれいしょ、なす、そば
	品質向上効果	229	道路舗装による荷傷み、防塵の軽減 対象作物：だいこん、ばれいしょ、なす
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,790	用水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、だいこん、ばれいしょ、なす、そば
	維持管理費節減効果	7,131	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	369	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	33,081	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、農道
地域生活環境の保全・向上	林業に係る走行経費節減効果	2,190	農道の改良による林業交通に係る走行経費の節減
計		48,215	

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	池田郷
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		774,900千円	
年 効 用		61,503千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		30年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,030,201千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.32	

### 2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,889	ほ場整備や用排水の整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、じねんじょ、そば、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	5,463	区画の大型化や農地集積、用排水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、さといも、そば、じねんじょ、だいこん、ばれいしょ、トマト
	維持管理費節減効果	23,678	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	30,409	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路
地域生活環境の保全・向上	地籍確定効果	64	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
計		61,503	

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	鳥居本西部地区
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

## 1. 費用便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総事業費		639,000千円	
年効用		44,175千円	
廃用損失額		5,148千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率 $\times(1 + \text{建設利息率})$		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	$= \div -$	793,676千円	
費用便益比	$= \div$	1.24	

## 2. 年効用の総括

項目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,286	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、キュウリ、キャベツ
営農経費の節減	30,785	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、キュウリ、キャベツ
	403	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、用水路、排水路、揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	5,028	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、揚水機場
地域の生活環境の保全・向上	755	公共用地等の非農用地を創設することにより合理的かつ経済的に用地を取得できる効果 対象施設：ほ場整備
	183	埋蔵文化財が具現化され、発掘調査を行うことによりその文化財的価値が明確になる効果 対象施設：ほ場整備、排水路
	476	道路の改修により付け替え対象施設の耐用年数が増加すること等により付随的に便益が向上する効果 対象施設：上水道施設
	3,148	ほ場整備の実施により、区画が整形化され、地積が明確になる効果 対象施設：ほ場整備
	111	排水路に濁水防止施設を設けることにより、魚類等の生息環境に配慮した水辺環境が保全される効果 対象施設：排水路
計	44,175	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	和歌山県	地区名	日向
-----	-------------	-------	------	-----	----

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,559,250千円	
年 効 用		108,911千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		56年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0465	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,355,444千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.51	

## 2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量	作物生産効果	100,567	農地開発による作付増加、土層改良による単収の増加 対象作物：梅
	品質向上効果	8,827	農道舗装による生産物輸送時の荷痛防止 対象作物：梅
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1,451	施設の新設、改修に伴う維持管理費の増加 対象施設：用排水路、揚水機、農道
	営農に係る走行経費節減効果	148	農道の整備による流通に係る輸送経費の削減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	820	既存施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
計		108,911	

### 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	島根県	地区名	大原
-----	-------------	-------	-----	-----	----

## 1. 費用便益比の算定



区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,409,520 千円	
年 効 用		107,943 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		41 年	当該事業の耐用年数
還元率 × ( 1 + 建設利息率 )		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,091,918 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.48	

## 2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	36,072 千円	水路整備による単収の増加 区画整理による転作作物の面積拡大や単収の増加 暗渠排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、キャベツ、大豆、白菜、ピーマン、トウモロコシ、青刈トウモロコシ、イタリアン
営農経費の節減	営農経費節減効果	58,219 千円	ほ場整備、暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、キャベツ、大豆、白菜、ピーマン、トウモロコシ、青刈トウモロコシ、イタリアン
	維持管理費節減効果	4,466 千円	水路の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9,186 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路
計		107,943 千円	

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	島根県	地区名	隠岐島後
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
-----	-------	-----	-----

総事業費		618,135 千円	
年効用		43,287 千円	
廃用損失額		5,522 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	787,280 千円	
費用便益比	= ÷	1.27	

## 2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7,468 千円	水路整備による単収の増加 暗渠排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小豆、イタリアン、ソルゴー
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,423 千円	暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小豆、イタリアン、ソルゴー
	維持管理費節減効果	4,454 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	2,353 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：水稲、大豆、小豆、イタリアン、ソルゴー
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,871 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
施設更新による災害防止	災害防止効果	14,849 千円	ため池及び排水路の改修による農作物、農地及び家屋等の被害防止
地域の生活環境の保全・向上	一般交通に係る走行経費節減効果	55 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減
	林業効果	2,814 千円	道路改良により林業通作交通及び輸送交通の走行経費節減並びに山林保育の機械化等山林経営の合理化による経費節減
計		43,287 千円	

### 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	山代の郷
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
-----	-------	-----	-----

総事業費		440,685 千円	
年効用		28,619 千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0543	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	527,053 千円	
費用便益比	= ÷	1.19	

## 2. 年効用の総括

項目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,050 千円	水路整備による単収の増加 暗渠排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、大豆、青刈トウモロコシ、イタリアン、杓苧、白菜、菊
	品質向上効果	101 千円	農道が舗装され、荷痛みが減少することによる農産物の品質向上 対象作物：杓苧、ワサビ、柿、トマト、
営農経費の節減	営農経費節減効果	571 千円	暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	7,934 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	3,349 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：水稲、杓苧、ワサビ、柿、トマト、粟、堆肥
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,614 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
計		28,619 千円	

### 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	下関北部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

## 1. 費用便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
----	-----	----	----

総事業費		921,900 千円	
年効用		76,481 千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0497	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	1,538,853 千円	
費用便益比	= ÷	1.66	

## 2. 年効用の総括

項目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	744 千円	暗渠排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、大豆、
	品質向上効果	532 千円	農道が舗装され、荷痛みが減少することによる農産物の品質向上 対象作物：りんご、梨、桃、ぶどう
営農経費の節減	営農経費節減効果	8,532 千円	暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	15,251 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	180 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：りんご、梨、桃、ぶどう、堆肥
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,804 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路、暗渠
施設更新による災害防止	災害防止効果	44,438 千円	ため池の改修による農作物、農地及び家屋等の被害防止
計		76,481 千円	

### 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	那賀川西部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

## 1. 費用便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総事業費		732,900 千円	

年 効 用		58,877 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		31 年	当該事業の耐用年数
還元率 × ( 1 + 建設利息率 )		0.0583	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,009,897 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.37	

## 2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	34,507 千円	水路整備による単収の増加 区画整理による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、キャベツ、きゅうり、にんじん、柿、リンゴ、みかん、いちご、洋ラン
	品質向上効果	4,286 千円	農道が舗装され、荷痛みが減少することによる農産物の品質向上 対象作物：にんじん、みかん、なす、ししとう
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,549 千円	ほ場整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、にんじん
	維持管理費節減効果	842 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の増減 対象施設：水路、道路、揚水機
	営農に係る走行経費節減効果	15,327 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象輸送作物：水稲、にんじん、みかん、いちご、なす、ししとう
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,050 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
計		58,877 千円	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	新星野
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
-----	-------	-----	-----

総事業費		1,271,630千円	
年効用		94,602千円	
廃用損失額		-千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		45年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0652	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	1,450,999千円	
費用便益比	= ÷	1.14	

## 2. 年効用の総括

項目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	35,432	農地造成による作付面積増加 対象作物：茶
	品質向上効果	1,169	農道の舗装による作物損傷等の軽減 対象作物：イチゴ、レタス、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	10,919	ほ場条件の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、レタス、大根、ブロッコリー、なす、キャベツ
	維持管理費節減効果	12,863	畦畔の改修(石積み保護工)に伴う維持管理費の節減 対象施設：石積み畦畔
	営農に係る走行経費節減効果	1,725	農産物の輸送及び通作に係る経費の節減 対象作物：水稲、茶、花木、大根等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,102	老朽化した施設の更新による機能の継続・維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1,136	棚田に隣接した農道の擁壁を石積みとすることによる景観の保全 対象施設：道路
	景観保全効果	21,256	棚田石積み保護工による現景観環境の維持・保全 対象施設：石積みの棚田
計		94,602	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	上益城中央 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	-----------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 1 2 , 4 5 0 千円	
年 効 用		5 0 , 8 7 0 千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × ( 1 + 建設利息率 )		0 . 0 5 0 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 1 7 , 4 0 0 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 1	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 ( 千円 )	効果の内容
農作物の生産量の増加	4 , 2 2 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、いちご、なす、キャベツ、ソルゴ - 、イタリアン、たばこ、ミニトマト、みかん、栗
	7 1	農道の舗装による荷痛みの防止 対象作物：みかん
営農経費の節減	8 , 0 4 1	ほ場の区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、いちご、なす、キャベツ、ソルゴ - 、イタリアン、たばこ、ミニトマト、みかん、栗
	1 , 4 7 9	施設の改良、新設による補修等の維持管理費の減 対象施設：用水路、排水路、農道、ため池
	3 , 8 1 8	農道の拡幅・舗装に伴う車種転換及び走行速度の向上による輸送経費の節減 対象作物：水稲、だいこん、茶、さといも、いちご、栗、大豆、かき、切り枝、きく、みかん、苗もの
施設更新による従前の農業生産の維持	2 2 , 9 1 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による災害防止	1 0 , 3 1 5	施設の更新により、災害の発生に伴う農業被害、公共資産の被害の防止 対象施設：ため池
計	5 0 , 8 7 0	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	荻 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

### 1 . 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 2 9 4 , 8 0 0 千円	
年 効 用		2 6 6 , 6 7 9 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 9 8 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × ( 1 + 建設利息率 )		0 . 0 4 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 4 7 3 , 9 7 0 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 3	

### 2 . 年効用の総括

項 目	年効果額 ( 千円 )	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 8 1 , 5 9 4	水利が開発され、作物生産の量的増減 対象作物：水稲、とまと、キャベツ、いちご、花卉等
	8 , 1 6 3	農道舗装により生産物運搬の際の損傷軽減 対象作物：いちご、とまと、キャベツ、レタス等
営農経費の節減	9 4 5	農道整備に伴う運搬距離の短縮や大型化による労働経費の節減 対象作物：キャベツ、そば、大根等、飼料作物等
	2 6 , 2 3 5	機能維持のための維持管理費の節減 対象施設：用水管、道路
	1 , 9 4 0	農産物の輸送及び通作に係る経費の節減 対象作物：いちご、とまと、キャベツ、レタス等
施設更新による従前の農業生産の維持	2 7 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計	2 6 6 , 6 7 9	



## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	阿久根北部
-----	-------------	-------	------	-----	-------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,273,180千円	
年 効 用		92,238千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,621,062千円	
費用便益比	= ÷	1.27	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	16,883 用排水路整備による単収の増加 対象作物：水稲、かんしょ、実えんどう
	品質向上効果	1,395 農道舗装により生産物運搬時の損傷軽減 対象作物：みかん、かんしょ、ばれいしょ
営農経費の節減	営農経費節減効果	50,771 農道整備に伴う運搬距離の短縮や区画整理に伴う営農機械の大型化による営農経費節減 対象作物：かんしょ、実えんどう
	維持管理費節減効果	4,827 用排水施設の改修に伴う施設維持管理費
	営農に係る走行経費節減効果	12,964 農道整備に伴う農産物の輸送及び通作に係る経費の節減 対象作物：かんしょ、みかん、実えんどう、そらまめ、水稲
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	12,466 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用排水路
	災害防止効果	930 老朽化した施設の更新又は新設による洪水被害の防止・軽減 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通量経費節減効果	977 農道舗装の改良による一般交通の走行経費の節減
	農道環境整備効果	679 農道改修及び新設に伴う現場発生のお石積み再利用による景観保全効果
計	92,238	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	清原
-----	-------------	-------	------	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		473,300千円	
年 効 用		24,658千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		48年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.04871	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	506,220千円	
費用便益比	= ÷	1.06	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	8,318	用排水路改良に伴う作付面積の拡大や単収増加 対象作物：そらまめ，ポンカン，	
営農経費の節減	営農経費節減効果	9,963	区画整理に伴う営農機械大型化による営農経緯節減 対象作物：そらまめ，甘藷，イタリア
	維持管理費節減効果	437	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道，排水路
	営農に係る走行経費節減効果	5,057	農道改良に伴う走行速度の向上による軽減 対象作物：甘藷，イタリアン
施設更新による従前の農業生産の維持	746	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路，農道	
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	153	管理設に伴う施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：農道
	水辺環境整備効果	858	土砂流出防止対策を行うことによる水辺環境保全 施設対象：沈砂池
小 計	24,658		

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	宇検
-----	-------------	-------	------	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		872,500千円	
年 効 用		47,539千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	930,313千円	
費用便益比	= ÷	1.06	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	20,098	畑の用水路整備による農作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：タンカン、サトウキビ、甘藷、イタリアン	
営農経費の節減	営農経費節減効果	14,146	区画整理に伴う営農機械大型化による営農経費節減 対象作物：サウヰ、加チ
	維持管理費節減効果	2,394	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
	営農に係る走行経費節減効果	6,756	農道整備に伴う走農産物の輸送及び通作に係る経費の軽減 対象作物：サウヰ、ソコ、イタリアン、加チ、タカン
施設更新による従前の農業生産の維持	3,749	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路	
地域の生活環境の保全・向上	396	赤土流出防止対策を行うことによる水辺環境ほ保全 対象施設：農道	
小 計	47,539		

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	秋田	地区名	山瀬
-----	-------------	-------	----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	300,150千円	
年 効 用	②	19,785千円	
廃用損失額	③	4,499千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	31	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0580	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	336,621千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.12	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	4,823	農業用水路整備整備による水田の水管理の合理化に伴う生産性の向上 対象作物：水稻
営農経費及び維持管理費の節減	7,695	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	1,658	農道改修に伴う車種転換による運搬時間の短縮及び労働時間の短縮 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	2,139	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
	2,521	施設の改良により、作物、農用地等の被害の防止又は軽減 対象施設：農地防災
生活環境の整備	949	一般交通における通作、輸送交通の改善による経費の節減 対象施設：農道
計	19,785	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	諸戸菅原
-----	-------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	620,600千円	
年 効 用	②	35,244千円	
廃用損失額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	653,878千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.05	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	9,916	ほ場整備等による単収の増加 対象作物：コンニャク、ニラ、ナス、そば
営農経費の節減	18,965	ほ場整備等により営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：コンニャク、ニラ、ナス、そば
	2,291	用水路等の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	546	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	1,540	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	885	ほ場整備により地域の安全性が確保される効果
	1,101	ほ場整備により地域資産の保全が図られる効果
計	35,244	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	水上中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	212,200千円	
年 効 用	②	13,727千円	
廃用損失額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	244,688千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.15	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	748 用水路等整備による単収の増加 対象作物：水稲、キュウリ、トマト
	品質向上効果	307 農道整備による荷傷みの防止 対象作物：トマト、ホウレンソウ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,204 ほ場整備等により営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：キュウリ、トマト、ホウレンソウ
	維持管理費節減効果	5,331 用水路等の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	2,596 農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	796 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、用水路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	435 農道整備による一般交通の走行速度向上効果
	安全性向上効果	310 農道整備により交通の安全性が向上する効果
計	13,727	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	長野県	地区名	小諸西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	413,791千円	
年 効 用	②	31,110千円	
廃用損失額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0620	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	501,774千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.21	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,800 用水路等整備による単収の増加 対象作物：水稲、ワス、はくさい
	品質向上効果	1,129 農道整備による荷傷みの防止 対象作物：ワス、はくさい
営農経費の節減	営農経費節減効果	14,039 農道整備により営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：水稲、ワス、はくさい
	維持管理費節減効果	1,402 用水路等の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1,813 農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,681 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	246 農道整備による一般交通の走行速度向上効果
計		31,110

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	美浜
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	146,659千円	
年 効 用	②	10,519千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	203,857千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.39	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	512	排水路の整備及びため池の補修による単収の増加 対象作物：水稲
営農経費の節減	1,595	排水路整備による労働時間の短縮 対象作物：水稲、麦類、大豆、大根
	1,587	排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	3,838	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：排水路
	2,987	施設の新設・改良による災害被害の防止及び軽減 対象施設：ため池
計	10,519	



費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	名田庄
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	68,725千円	
年 効 用	②	6,024千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0673	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	89,510千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,058	排水路整備の水管理改良及び暗渠排水の乾田化に伴う単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大麦、きゅうり、なす、自然薯、そば、だいこん
	品質向上効果	265	農道整備に伴う荷傷み及び防塵効果による農作物の品質向上 対象作物：きゅうり、なす、だいこん
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,637	排水路整備の一般水管理や、暗渠排水の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、きゅうり、そば、だいこん
	維持管理費節減効果	1,853	排水路の改修、農道整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	211	農道整備による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	171	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：排水路、農道
計		6,024	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	兵庫	地区名	新宮
-----	-------------	-------	----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	692,415 千円	
年 効 用	②	50,442 千円	
廃用損失額	③	4,366 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	29 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	825,272 千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.19	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,713	区画整理、水路の改修による作付単収の増加 対象作物:水稲、大豆、きゅうり、いちご、小麦
	413	農道舗装による荷痛みの軽減 対象作物:きゅうり、いちご、なす、だいこん
営農経費の節減	21,283	中型機械化による営農労力の軽減 対象作物:水稲、大豆、きゅうり、いちご、小麦
	14,313	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:用水路、農道
	3,111	農道舗装による営農に係わる走行経費の節減 対象:軽トラックによる1次輸送、通作交通
施設更新による従前の農業生産の維持	6,283	老朽化した施設更新による従前の農業生産の維持 対象施設:用水路、農道(敷砂利)
地域の生活環境の保全・向上	3,219	農道舗装による一般交通等走行経費の節減 対象:二輪、軽四、普通車、軽トラ、2tトラック
	107	水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設:用水路
計	50,442	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	兵庫	地区名	佐用
-----	-------------	-------	----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	359,581 千円	
年 効 用	②	36,662 千円	
廃用損失額	③	765 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	17 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0843	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	434,134 千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.20	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	295	水路の改修による転作作物の拡大及び単収の増加 対象作物：水稻，なす，トマト，黒大豆
	201	農道舗装による荷痛みの軽減 対象作物：すいか，なす，トマト，きゅうり
営農経費の節減	6,689	水路の改修，農道舗装に伴う維持管理費の節減 対象施設：用排水路，農道
	25,004	農道舗装による走行速度の変化に伴う走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	3,624	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	40	小動物の水路からの脱出に配慮した施設を設置することによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
	809	水路の整備に伴う農作物，一般施設等の湛・冠水被害の防止 対象施設：排水路
計	36,662	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	兵庫	地区名	江井大石
-----	-------------	-------	----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	322,190 千円	
年 効 用	②	19,574 千円	
廃用損失額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0535	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	365,869 千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.13	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,507	区画整理、水路の改修による作付単収の増加 対象作物：水稲、玉ねぎ、レタス、飼料作物
	164	農道舗装による荷痛みの軽減 対象作物：玉ねぎ、レタス
営農経費の節減	14,765	中型機械化による営農労力の軽減 対象作物：水稲、玉ねぎ、レタス、飼料作物
	138	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	863	区画整理にともなう公共非農用地の創設 対象施設：公共非農用地
	137	区画整理にともなう地積の確定 対象施設：区画整理
計	19,574	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	楠
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	143,862 千円	
年 効 用	②	9,854 千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	35 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	180,476 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.25	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	523 千円	水路整備による単収の増加 区画整理による転作作物の面積拡大や単収の増加 暗渠排水整備による単収の増加 対象作物：水稲、大豆、なす、麦、きゅうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	6,172 千円	ほ場整備、暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、きゅうり
	維持管理費節減効果	2,295 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	864 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
計		9,854 千円	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	東桜島
-----	-------------	-------	------	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	506,000千円	
年 効 用	②	35,954千円	
廃用損失額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0638	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	563,542千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.11	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	1,151	用排水路改良に伴う作付面積の拡大や単収増加 対象作物：ミカン、ビワ	
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,941	給水栓の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：ミカン、ビワ
	維持管理費節減効果	△256	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
	営農に係る走行経費節減効果	16,504	農道改良に伴う走行速度の向上による軽減 対象作物：ミカン、ビワ、大根、柿
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7,594	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
	災 害 防 止 効 果	7,231	排水路整備に伴う地域被害額の軽減 対象施設：農地、農業用施設等
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1,789	農道改良に伴う走行速度の向上による軽減 対象施設：農道
小 計		35,954	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	沖縄	地区名	石垣西部
-----	-------------	-------	----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	544,794千円	
年 効 用	②	43,328千円	
廃用損失額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	25年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0665	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	651,549千円	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.19	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,324	農業用排水施設整備、農用地の改良・保全整備により作物の単収が増加 対象作物：さとうきび・牧草・マンゴー
	2,158	道路改良により、荷痛みの軽減・防塵により生産物の品質が向上 対象作物：かぼちゃ・葉たばこ
営農経費の節減	2,108	農業用排水施設整備(スプリンクラー)により、農家の散水に係る労働経費の節減 対象施設：用水路
	16,194	農道整備により、農道の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路
	6,700	農道整備により、走行速度の上昇・車種の変更による農業輸送・通作輸送の経費が節減 対象施設：道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2,843	既設の農道の改良による従前の農業生産の維持 対象施設：道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
施設更新による 災害防止	災害防止効果	6, 3 1 7	農用地の改良・保全に伴う、排水路の設置による耕土の流出や災害を防止 対象施設：排水路
地域生活環境の 保全・向上	環境保全効果	1, 6 8 4	排水路・沈砂池・小動物保護側溝の設置により、耕土の流出軽減による周辺海域の保全、小動物保護による周辺環境への保全効果
計		4 3, 3 2 8	